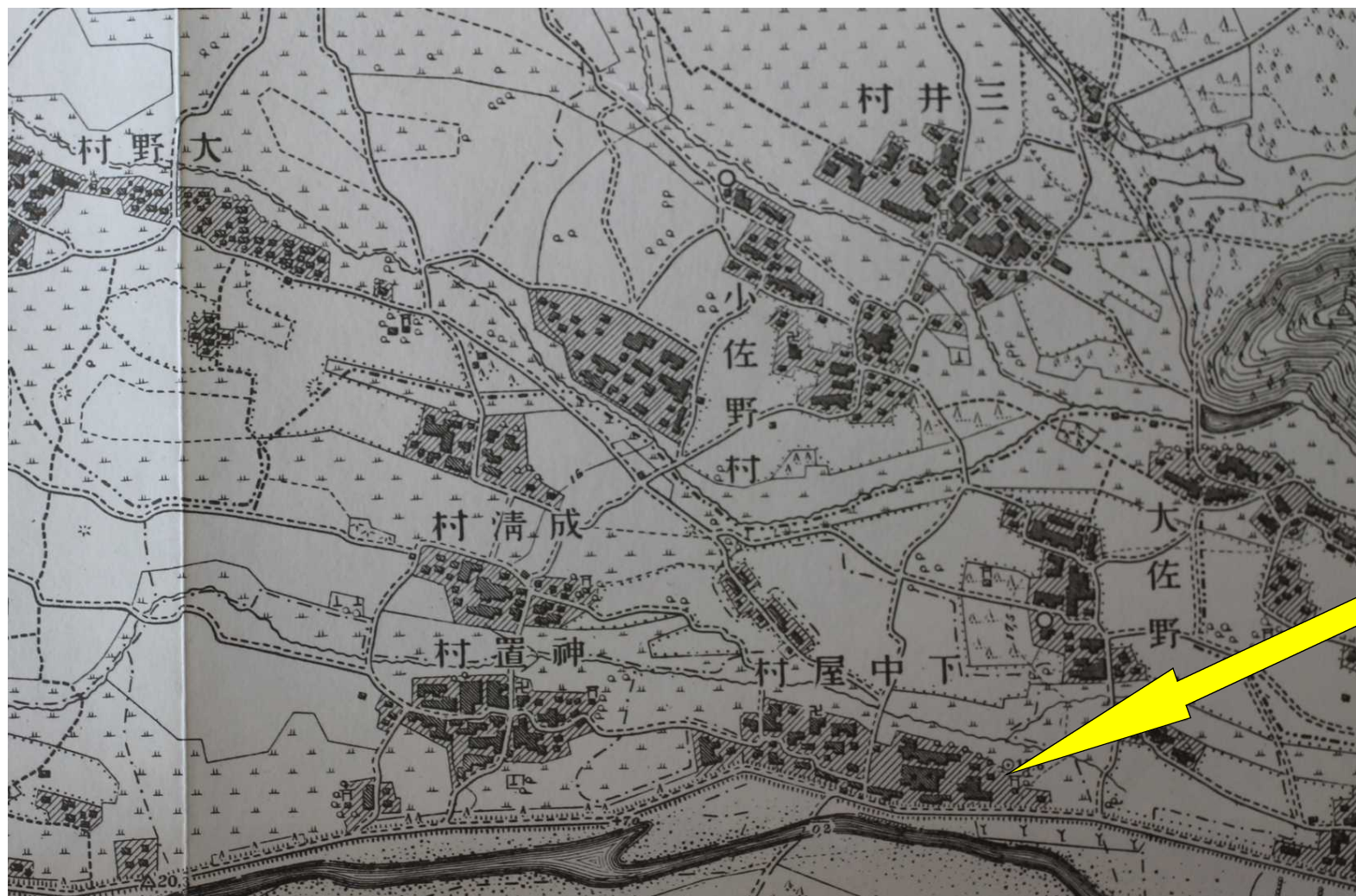


地図で見る稲羽西小学校区の変化

わたしたちの住んでいる稲羽西小学校区はどのように変わってきたのでしょうか。地図をもとに見てみることにしましょう。

明治24年（1891年）



稲羽西小学校のもとになった敬格尋常小学校ができたのが、明治6年のことです。

そのころは、今の場所ではなく、下中屋に学校がありました。

学校はこのあたりにありました。

大正9年（1920年）

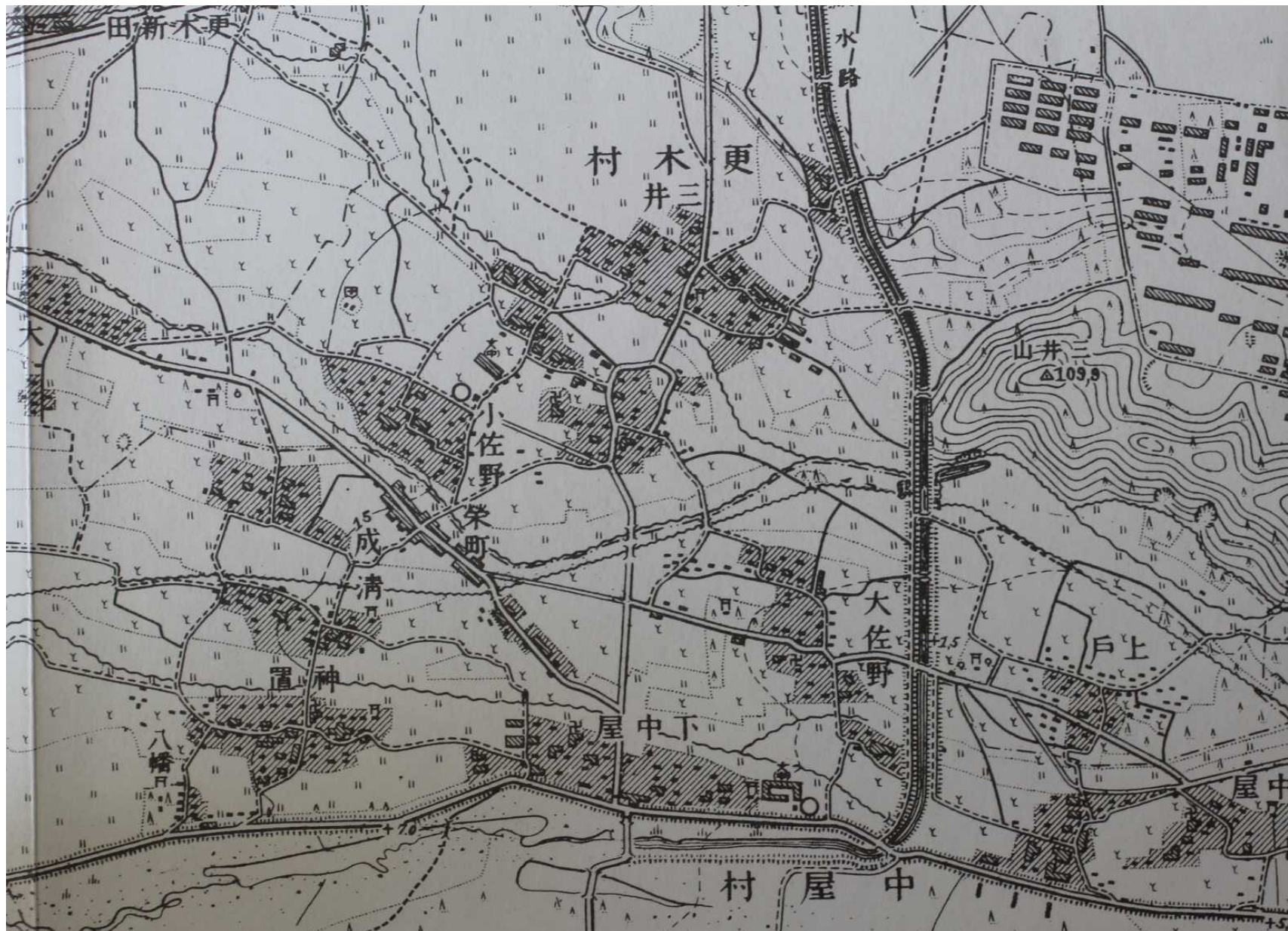


1920年になると、稲羽西小学校区には、更木に小学校ができています。

（更木尋常小学校は明治30年・1987年に開校しました。）

町のようにすをみてみると明治時代にくらべて道がきれいにされていることが地図からも分かります。

昭和22年(1947年)



昭和22年(1947年)になると、校区に境川の放水路が完成し、南北を走っているのがわかります。

学校は、中屋村の敬格小学校と、更木村の更木小学校の2つがありました。

また、町と町をつなぐ、きれいな道路もできています。

更木小学校と敬格小学校の場所を地図からさがしてみましょ。

昭和45年（1970年）



昭和45年（1970年）には、現在の場所に稲羽西小学校ができあがっています。稲羽西小学校は昭和38年（1963年）に現在の所に更木小学校と敬格小学校をいっしょにしてできあがりました。むかしとくらべて家の数もふえてきていることがわかります。

平成8年（1996年）

時代は平成になり、校区内には、東海北陸自動車道の岐阜各務原インターチェンジができました。また、国道21号線のバイパス道路もできています。家の数もどんどん増えてきています。



